

## 第2回 野辺地町商工会経営発達支援事業評価委員会議事録

招集通知日 平成29年2月2日(木)

開催日時 平成29年2月21日(火) 10時～

開催場所 野辺地町商工会2F 研修室

出席者数 4人

欠席者数 0人

出席委員氏名 古林兼一、橋本邦夫、蛭名進一、米田吉宏

事務局 事務局長 澤田 則雄 、経営指導員 堀 一男、古川 司

議長氏名 古林兼一

議事録作成者氏名 委員長 古林 兼一

### 議事の経過と結果

定刻、事務局堀指導員は開会を宣し、古林委員長より開会のあいさつがあり「忌憚の無いご意見お願いしたい」と述べ報告に入る

#### 案件1 経営発達支援計画事業の遂行状況について

議長は、経営発達支援計画の遂行状況の内容について事務局に説明を求めたので、堀経営指導員は経営発達支援計画評価報告書に基づき説明した。特に本年度は、事業初年度に当たるため時間的制約もあり実施できなかった事業もある旨説明し、総合評価の基準をA・・・実施された効果(活用)がみられるもの、若しくは期待できるもの。B・・・実施されたが効果(活用)がみられないもの。C・・・実施されなかった若しくは実施されたが回数等が大幅に目標を下回っているもの。に区分し評価についてお願いし説明に入る。

##### I. 経営発達支援事業の内容

###### 1. 地域経済の調査更新

①中小企業景況調査を通じた地域経済動向調査・・・・・・・・・・総合評価B

②巡回訪問を通じた個別の景気動向に関する定点観測・・・・・・・・・・総合評価B

景気動向調査の事業者の反応はどうか?との質問があり、堀指導員は事業者の関心は薄くデータの精度は高くない。また巡回訪問に関しては単年度件数を設定し計画的に実施したいと述べた。

また、景気動向指数の周辺比較ができておらず有効な仕組みを構築したいと述べた。委員からは、業務の効率化を図るため街外部委託も検討するべきとの意見が出された。

評価委員の総合評価はAであった。

###### 2. 経営状況の分析に関すること

- ①経営相談や巡回訪問を通じた経営分析を希望する事業者の掘起し・・・総合評価 A
- ②経営戦略セミナーに開催・・・総合評価 B
- ③経営分析事業・・・総合評価 A

資料に基づき実績について説明した。委員からセミナーの内容が非常に良かった。個別相談も良かったとの声を聞いている。また個別相談の4社は妥当か？との意見があり1社辺り1時間程度の相談時間であったがあと2～3社はこなせると考えていると説明した。

### 3. 事業計画策定支援に関すること

- ①事業計画策定支援・・・総合評価 A
- ②創業支援セミナーの開催・・・総合評価 A
- ③事業承継セミナーの開催・・・総合評価 A

資料に基づき説明した。事業計画策定件数に持続化補助金申請支援を入れるのはどうかと思う。持続化補助金の公募や期間とのかねあいから別のカウントにしてはどうか？との指摘があった。

### 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること・・・総合評価 A

資料に基づき説明した。創業計画に対するフォローアップは全員実施したか？との意見があり掘指導委員は、全員実施したと答弁した。

### 5. 需要動向調査に関すること・・・総合評価 B

実施できなかったことについて資料に基づき説明した。

### 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

- ①展示会、商談会などを活用した食品製造業者の販路拡大・・・総合評価 C
- ②ECサイトを活用した販路拡大・・・総合評価 C

資料に基づき説明した。特に野辺地町は製造業者が少ない地域である。粘り強くがんばって欲しい。

## II. 地域経済の活性化に資する取組

- ①地域資源を活用した新商品開発等の取組・・・総合評価 B
- ②復元型弁財船みちのく丸や歴史観光資源を活用した取組・・・総合評価 A
- ③商店街活性化に資する取組・・・総合評価 B

資料に基づき説明した。新商品開発は良かったと思う。今後は産直施設との連携を積極的に取って欲しい。

## III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

### 1. 他支援機関との支援ノウハウ等の情報交換に資すること

- ①金融機関との情報交換の実施・・・総合評価 B
- ②地域内支援機関による情報交換の実施・・・総合評価 C

資料に基づき説明。金融機関の対応状況について問われ、担当者は企業支援に対する意識は高くなかったと説明した。

### 2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

- ①経営指導員研修会等の活用・・・総合評価 A
- ②研修、専門家相談、交流会の活用・・・総合評価 C
- ③組織内情報共有・・・総合評価 A

資料に基づいて説明した。積極的に研鑽していることが感じられるとの評価。

3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること  
資料に基づき説明した。・・・・・・総合評価 A

案件2 事業評価及び改善に係る意見交換

新年度は1年を通しての実施となることから、実施体制をしっかりと確立して欲しい。  
との意見があり、委員長は理事会を通じて検討して行くと答弁した。

以上で全案件の審議を終了したので円滑な運営に対し謝意を述べ議長は閉会を宣した。  
時に11時50分であった。

平成29年2月21日